

フォト句会 23年5月度成績

開催日：5月9日(火)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：渋谷区地域交流センター
代々木の杜

出席者：7名

写真出題：安 藤

付け句お題;

出題: 安 藤

場所: 二条城



付け句（二条城にて；出題：安藤）

- 1) 手をつなぎ高き壁越え未来へと 松田 昌康
親の反対を乗り越えて、前進を続ける二人にエール。
- 2) 二人見て無敵石垣ニツコリす 清水 勝
硬く冷たい石垣も、仲良しカップルには温かい目線。
- 3) 後も見ず手に手を取って逃避行 中村 晃也
大手を振って街を歩けない二人の心情は…。
- 4) 本丸にラブホがあるといいのにネ 清水 勝
城主になった気分が味わえて、人気が出るかも。
- 5) 封建の終焉告げし城址かな 松田 昌康
徳川300年をじっと見守って来た城も土台だけに。



陽に透けて嘆きの声や虞美人草
(晃二)

そこで
ここで
田植の準備
風渡る（進一郎）





二の丸出で歴史を想う枝垂れかな
(晃二)

竹の子は

あれよあれよと

突き抜ける

(正一)



少子化の 憂い忘るる こどもの日 (勝)



提灯を
伸ばし吊るせば
夏祭り（鬼也）



自由題 寸評

- 1) 陽に透けて嘆きの声や虞美人草 安藤 晃二
逆光に浮かび上がる花や茎。細部にわたる描写が美しい。
- 2) そこここで田植の準備風渡る 長尾 進一郎
夏も近づき、水の張られた田に活気がよみがえる。
- 3) 二の丸出で歴史を想う枝垂れかな 安藤 晃二
枝垂れ桜の一輪一輪が陽光に輝く写真が印象的。
- 4) 竹の子はあれよあれよと突き抜ける 矢澤 正二
真っ直ぐに一本だけ伸びる竹。意表を突く構図と句。
- 5) 少子化の憂い忘るるこどもの日 清水 勝
伸び伸び遊ぶ子らを見ていると、一時心配も忘れる。
- 6) 提灯を伸ばし吊るせば夏祭り 中村 晃也
地面に置かれた提灯が、賑やかな祭りへの期待を感じさせる。